

令和元年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和元年9月27日
横浜市立高田小学校

10月号

「ゴールを目指して」

副校長 田島 良子

本校もいよいよ一大行事である運動会を 1 か月後に控えています。先日の台風15号の報道を見るたびに胸が痛み、いち早くの復旧を願うばかりです。予測ならない事態をもたらす気象状況の昨今ですが、子どもの安全を第一にその都度考えて進めていきたいと思えます。

さて、練習も本格的になってくる運動会ですが、かつて、運動会の練習に入る前に、「ウサギとカメ」の話を子ども達に聞かせている先生がいました。こつこつやることの大切さや、慢心してはならないことを説くのだろうとたかをくくって聞いていましたが、その話は思わぬほうに展開していきました。

ウサギとカメは見ているものが違ったのです。
ウサギはカメを見ていた。でも、カメはウサギではなかった。
では、カメは何を見ていたのでしょうか。

カメは、ずっとゴールを見て走っていたのです。

先生の話の後、私はすぐに「ウサギとカメ」の話を読み返しました。そんなふうに解釈できる場所は見つかりませんでした。そう論じていた話だと思えば、この話の景色は一変しました。相手を見るな、ゴールを見て走れ。隣の人に勝つためではなく、自分自身に勝つために、ひたすらゴールを目指すことに一生懸命になろう。

これから運動会に向かって、一人ひとりの子ども達の力をより引き出すために、教職員からいろいろな言葉をかけていくことと思います。また、子ども達同士の中でも、励ましやアドバイスの言葉もたくさんあるでしょう。ご家庭でもいろいろな形でお子様の体と心を整えてくださることと思います。

それでも、相手を見ずにゴールをだけをめざしていくことが苦しい日もくるかもしれません。目指すゴールを変えたり、相手と向き合ったりしなければならないこともあるかもしれません。

そんなとき、どうぞ、私たち教職員を信じて、お話を聞かせてください。一人ひとりに合った自分らしいゴールと一緒に考えたいと思います。お子様の話を通して、当たり前と慣れてしまったことに立ち止まり、納得できる価値を見出し、また、進んでいけたら嬉しいです。

そして本番当日の日は、心を込めてお子様の名前を呼んで応援してください。「名前は祈り」(作. 毛利 武)という詩を子ども達には紹介していますので、よろしくお願ひいたします。